



# その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.064  
a taste of Yassy

田中 康夫



たなかやすお ●'58年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。  
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、  
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。[公式ブログ] [www.nippon-dream.com/](http://www.nippon-dream.com/)

「戦場にかける橋」と「猿の惑星」は、意外にも同じ原作者です。フランスはアヴィニヨン生まれのピエール・ブルー。

マレー半島のゴム園で監督者だった彼は、ナチス・ドイツの軍門に陥った。本国のヴィシー政権に与する仮領インドシナ植民地政府を潔しとせず、自由フランスの義勇軍に加わります。シャルル・ド・ゴール率いるレジスタンスの一員です。が、仮印政府から三国同盟の日本軍に引き渡され、1年半に及ぶ収容所生活を経験します。戦

争の虚無を活写、と表層的に称揚される作品の背後関係です。

「猿の惑星」が隠喩する思想＝モチーフも、黄色人種を使役している彼が、その黄色人種の捕虜となつた。人生の逆転に基づいた彼は、ハリウッド映画として上梓されます。元来はSF小説として上梓された同作は、ハリウッド映画として更に“純化”されます。

奇しくも何れの映画でも脚本を担当したマイケル・ウィルソンは、赤狩りに遭遇した1人。ウィスコンシン州の弁護士出身だった共和国上院議員ジョンセフ・マッカーカー

## 白色人種の新たなカタルシスとしてシリーズ化された映画「猿の惑星」

### 今週の逸品



### ブー・ニム・トート・プリックタイダム 1200円

先ずはクン・チャー・ナン・ラー＝海老の辛口マリネ(1300円)で口腔に洗浄を与える。トート・マン・ラー＝タイ風薩摩揚げを煮やしとしてヤム・ウンセン＝海老と豚挽肉の春雨サラダ(1100円)に進むのが定番。

パッド・バックブーン・ファイデーン＝空心菜炒め(1050円)、1200～1400円のグリーンカレー、レッドカレーも鶏牛豚海老から選択可。

HPIに詳細な品書き。

[セラトン] 東京都渋谷区幡ヶ谷1-8-3 GSビル本館1階 ☎ 03-5371-3223 営火金11:30～14:30、17:30～23:30、土日祝16:30～23:30 月曜定休 <http://www.cela-don.com/>

illustration by Hajime Anzai

れるやも知れません。

が、

「西

部劇

」に象徴される、先住民族としてのインディアン蔑視の“勸善懲惡”映画が禁忌となつたアメリカに於ける新たなカタルシス＝净化法として「猿の惑星」がシリーズ化された側面は否定し得ぬ事実です。

実際問題、マッカーシーを生んだ中西部の小さな町の博物館を訪れたなら今でも、インディアンとバッファローを駆逐した史実が自由と民主の闘いとして展示されたりするのです。

作品の舞台となつた泰緬鉄道建設が、数万人に及ぶ国軍捕虜とアジア人労役者の死亡を齎した厳然たる史実も認めた上で、更にはマッカーシズムを後押ししたウォルト・ディズニーの作品を、20世紀フォックス映画「猿の惑星」を半ば手放して思春期に鑑賞した戦後日本の1人としての僕が抱く忸怩たる複雑な感懷です。

閑話休題。日本と同じく植民地を経験していないアジアの数少ない国家がタイ王国。甲州街道沿いで12年前から當まれるセラトンは、タイ料理好世家の間で評価される逸軒。100種類近い豊富な品書きは全て写真入り。大蒜と薄胡椒風味のソフトシェルクラブ炒め(1200円)は、今時の時期の推薦品です。定食は3600円から3種。タイスキ鍋は3800円から。ゆつたりとした時空です。

シーガ、ワシントンの連邦政府やハリウッドの映画産業で働く弁証法的思考の人物に「共産主義者」なる“縫文字”の烙印を半ば狂信的に押したマッカーシズム＝魔女狩りの煽りを食らい、ウイルソンと名前は当初、エンドロールに表示されませんでした。

その屈折は、弁証法と対極の、優越思想にも似た白色人種目線の映画「猿の惑星」に、猿＝日本人として陰影されていると捉える向

きも居ます。穿ち過ぎだと抗弁さ

きも知れません。

が、「西

部劇

」に象徴される、先住民族としてのインディアン蔑視の“勸善懲惡”映画が禁忌となつたアメリカに於ける新たなカタルシス＝净化法として「猿の惑星」がシリーズ化された側面は否定し得ぬ事実です。

実際問題、マッカーシーを生んだ中西部の小さな町の博物館を訪れたなら今でも、インディアンとバッファローを駆逐した史実が自由と民主の闘いとして展示されたりするのです。

作品の舞台となつた泰緬鉄道建設が、数万人に及ぶ国軍捕虜とアジア人労役者の死亡を齎した厳然たる史実も認めた上で、更にはマッカーシズムを後押ししたウォルト・ディズニーの作品を、20世紀フォックス映画「猿の惑星」を半ば手放して思春期に鑑賞した戦後日本の1人としての僕が抱く忸怩たる複雑な感懷です。

閑話休題。日本と同じく植民地を経験していないアジアの数少ない国家がタイ王国。甲州街道沿いで12年前から當まれるセラトンは、タイ料理好世家の間で評価される逸軒。100種類近い豊富な品書きは全て写真入り。大蒜と薄胡椒風味のソフトシェルクラブ炒め(1200円)は、今時の時期の推薦品です。定食は3600円から3種。タイスキ鍋は3800円から。ゆつたりとした時空です。